2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課　TEL：077-537-1176

コース番号	028	訓練分野	B.組織マネジメントー組織力強化
コース名	成果を上げる業務改善		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-042-028　※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾３桁を記載しています。 − ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2026/1/27（火）　9：30～16：30（昼休憩　12：30～13：30） 受付開始 9：10　9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会　場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩１０分、京阪唐橋前駅から徒歩５分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対 象 者	初任層・中堅層・管理者層 ●業務上の問題点を把握したい方 ●業務改善の進め方を知りたい方 ●業務改善の成果を検証したい方		
習得する スキル等	●業務改善の目的と必要性 ●改善の視点と具体的な進め方		
ポイント	・４～６人程度のグループワークにより、グループのメンバー全員で考え、話し合って理解を深める研修としています。 ・受講者には、質問を投げかけるなどして、双方向の研修を心掛けています。 ・研修の最後に、「学びを活かす」として心に残ったこと、明日からこうしたい、と思うことを3項目程度記載いただき、数名の方に発表していただくことで研修のまとめとします。		
	1　業務改善と業務の可視化 （１）業務を改善する目的とは　【グループ討議】 ・会社の役割と使命から生産性向上の重要性を説明する。 ・ムリ、ムダ、ムラとは何かを解説する。 ・自分自身やチームの業務改善の目的についてグループで話し合う。 【演習】業務改善の目的検討 （２）業務改善の取組とその成果 ・改善とは「小さな変化の積み重ね」であることを説明する。 ・業務改善の成果について、経営者の視点と従業員の視点で解説する。 ・DXによる改善事例を紹介する。 （３）業務の可視化の必要性と可視化手法 ・業務の可視化の必要性について解説し、受発注などの業務部門で活用される可視化手法として「業務フロー分析」を紹介する。 2　業務改善手法 （１）業務プロセス上のムリ・ムダの洗い出し		

内　　容	・課題解決の７つの手順について解説する。 ・業務プロセス上のムダの洗い出しの着眼点として、「７つのムダ」を 　解説する。 （２）問題の発見と改善プランの検討 ・目標設定においては、数値化が重要であることを解説する。 ・改善の着眼点として「イクルス」を解説する。 ・原因究明の手法として「特性要因図」を解説する。 （３）対策の立案・実施　　【グループワーク】 ・対策の実施手法として整理整頓の考え方を解説する。 ・ヒューマンエラー対策の要点を解説する。 ・対策の計画立案のガントチャートとその運用方法を解説する。 ・職場にある「ムダ」についてグループワークで抽出し合い、 　その原因と対策を考える演習を行う。 【演習】ムダの抽出と原因究明・対策立案 （４）改善成果の検証 ・PDCAによる検証と更なる改善の必要性を解説する。		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定　　員	15　名	受講料	3,300　円（税込）
使用ソフトウェア	－	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備　　考	－		